

 本機および各機器の電源ケーブルを電源コンセントに接続しない状態で行ってください。

① テレビとの接続

① 同軸ケーブルの接続（図の赤色部）

- ・ 壁のテレビ端子に同軸ケーブルを接続し、もう一方をチューナーの●印のある「ケーブル入力」へ接続して下さい。
- ・ 付属の同軸ケーブルで、チューナーの「分配出力」とテレビの「地上入力」を接続してください。

※テレビの「地上入力」と「BS/CS入力」を間違えないように注意してください。

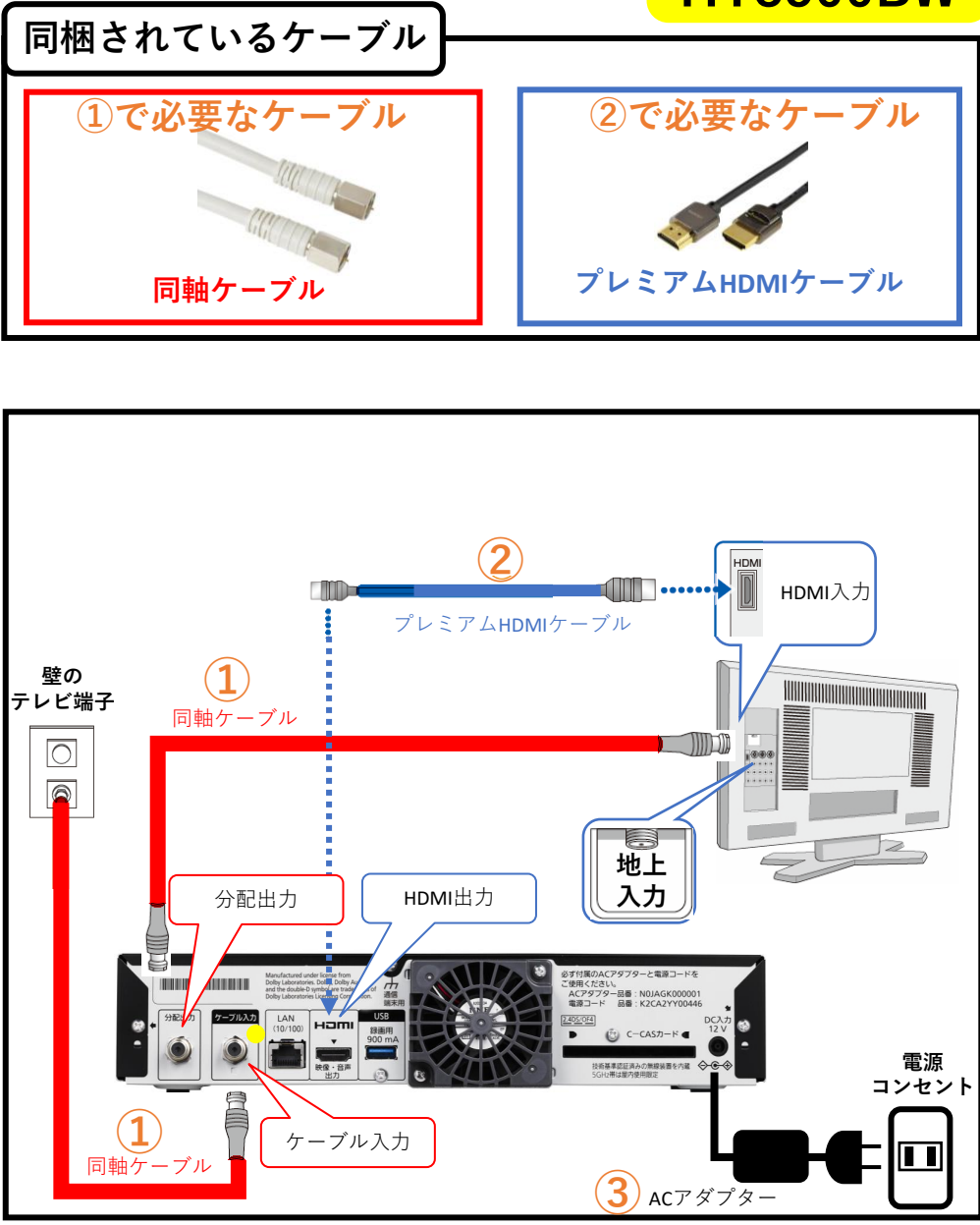
② HDMIケーブルの接続（図の青色部）

- チューナーの「HDMI出力」とテレビの「HDMI入力」を付属のプレミアムHDMIケーブルで接続して下さい。
- ※4K対応テレビに接続する場合は「HDMI2.0/ HDCP2.2対応端子」に接続してください。
テレビ側のHDMI設定をHDMI2.0対応になる様にしてください。
詳しい設定方法はテレビの説明書を参照してください。

③ 電源への接続

すべての接続が終わりましたら、チューナーのACアダプターを電源コンセントに接続して下さい。

※ACアダプターは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。



2 各種設定

本機はUCVにて受信の初期設定を行ってあります。
下記の項目はお客様により取扱い説明書に従い設定を行ってください。

1 テレビに合わせたリモコンのメーカー設定

チューナーのリモコンで、
テレビの基本操作（電源、
入力切替、音量調整）
が可能になります。

①テレビメーカーを設定する

テレビ
電源 ボタンを押したまま、



右表より、お使いのテレビの
メーカーに対応する番号ボタン
を順番に押す。（工場出荷時は
パナソニック（新1）に設定済）

テレビメーカー	ボタンを 順番に押す	テレビメーカー	ボタンを 順番に押す	テレビメーカー	ボタンを 順番に押す
パナソニック(新1)	1と2	シャープ(2)	4と6	LG	7と3
パナソニック(新2)	1と2	シャープ(3)	4と7	オリオン(1)	7と4
パナソニック(旧)	1と3	シャープ(4)	4と8	オリオン(2)	7と5
パナソニック(新3)	1と4	三菱(1)	5と1	オリオン(3)	7と6
パナソニック(新4)	1と5	三菱(2)	5と2	ハイセンス(1)	7と7
パナソニック(新5)	1と6	三菱(3)	5と3	ハイセンス(2)	7と8
ビクター	2と1	三菱(4)	5と4	ハイセンス(3)	7と9
東芝(1)	2と5	富士通ゼネラル(1)	5と5	EPSON	8と1
東芝(2)	2と6	富士通ゼネラル(2)	5と6	FUNAI(2)	8と2
日立(1)	3と1	三洋(1)	6と1	アイリスオーヤマ(1)	8と3
日立(2)	3と2	三洋(2)	6と2	アイリスオーヤマ(2)	8と4
日立(3)	3と3	三洋(3)	6と3	TCL(1)	8と5
日立(4)	3と4	三洋(4)	6と4	TCL(2)	8と6
SONY(1)	3と5	NEC(1)	6と5	ユニテック	8と7
SONY(2)	3と6	NEC(2)	6と6	ビクセラ(1)	8と8
パイオニア	4と1	AIWA	7と1	ビクセラ(2)	8と9
シャープ(1)	4と5	FUNAI(1)	7と2	SUMSUNG	9と1

※テレビメーカーの番号が複数ある場合、②で操作が出来なければ
①に戻って別の番号を試してください。

※一部動作しない機種もあります。
動作しない場合はテレビに付属のリモコンをお使いください。

2 デジタルチューナーの設定

受信地域の設定

データ放送等で地域の天気予報や関連情報が閲覧できます。＜取扱説明書P 89＞

HDMI連動の設定

リモコンの●電源ボタンを押すとテレビとチューナーの電源が一緒に入切出来るようになります。
＜取扱説明書P 102＞

テレビ側のHDMI連動設定はテレビの説明書をご確認下さい。

入力切替がずれてしまった場合、**元の画面** ボタンを押すことにより、
デジタルチューナーの入力へ切替わります。

3 視聴

- デジタルチューナー（またはテレビ）のリモコンの「入力切替」ボタンを押して、デジタルチューナーの画面（裏面の①の②で接続したテレビの入力切替端子名の画面）に合わせてご視聴ください。
- リモコンの操作方法と各チャンネルの番号は、別紙「リモコン操作ガイド」をご覧ください。
- 長時間テレビを見ない時（夜おやすみの間など）は、テレビだけでなく、デジタルチューナーの電源も切ってください。コンセントは抜かないでください。（この状態でデータの更新が行われます）

正しく接続しているのにテレビが映らない場合はUCVにご連絡ください。

宅内の設備が放送に対応していない可能性がありますので、UCVが調査に伺います（無料）。調査の結果、建物内設備の交換・工事が必要な場合はお客様のご負担にてお願いいたします。
UCVは宅内工事は行いませんが、ご希望があれば業者を紹介します。

受信障害の原因となる宅内設備の例

- 複数の部屋にテレビがある。
配線を分配するため電波が弱くなります。電波を強める機器（ブースター）の設置が必要な場合があります。
- 放送の周波数に対応していないブースターや分配器などを使っている。
機器の規格についてはお問合せください。
- ワンタッチ式の接続コードを使用している。
接栓型のケーブルへの変更が必要な場合があります。

USBハードディスクとの接続

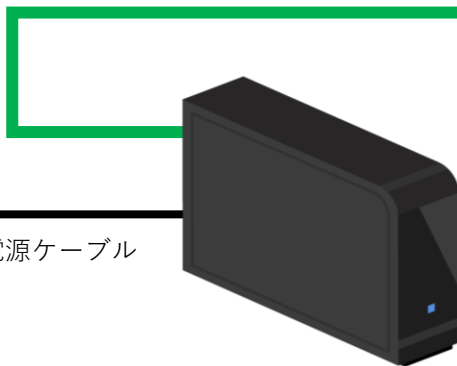
デジタルチューナーに外付けHDDを接続することで
録画時間を増やすことができます

パナソニック製

HT3500BW



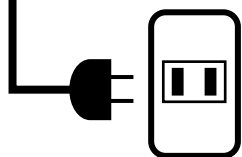
USBケーブル
(USBハードディスクの付属品)



電源ケーブル

USBハードディスク

※動作確認済みの機器をご使用ください。



電源
コンセント

- ・動作確認済みの機器を使用し、対応していない機器は接続しないでください。動作確認のとれていないハードディスクを使用した場合、録画できない等の不具合が発生する場合があります。

- ・録画用USBハードディスクは、必ず背面のUSB（録画用）端子に接続して下さい。

- ・メーカーで動作確認したUSBハードディスクの最新情報は、下記のサポートサイトでご確認ください。

https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_catv-support_usb-hddlist



- ・初めて本機に接続するUSBハードディスクは、機器登録が必要です。（取扱説明書32～35ページをお読みになり、注意事項を確認し、登録して下さい。）

- ・USBハードディスクを本機に接続して録画・再生用として登録すると、本機専用のハードディスクとしてフォーマット（初期化）されます。それまでUSBハードディスク内に録画していたデータはすべて消去されます。

- ・本機でお使いいただくUSBハードディスクは本機専用として使用ください。本機専用で使用中のUSBハードディスクを他の機器で使用すると、再フォーマットが必要になり、録画した番組や保存していたデータがすべて消去されます。

2025.07

放送の受信障害について

機器を正しく接続しているのにテレビの映りが悪い場合は、建物内の設備が放送に対応していない可能性があります。原因調査にうかがいますのでUCVにご連絡ください。調査は無料です。

調査の結果、建物内設備の交換や改修工事が必要な場合はお客様のご負担にてお願いいたします。UCVで建物内設備の工事は行いませんが、ご希望があれば業者を紹介いたします。

受信障害の原因となる建物内設備の例

- 複数の部屋にテレビがある。
配線を分配するため電波が弱くなります。電波を強める機器（ブースター）の設置が必要場合があります。
- 放送の周波数に対応していないブースターを使っている。
ブースターの規格についてはお問合せください。
- ワンタッチ式の接続コードを使用している。
接栓型のケーブルへの変換が必要な場合があります。
- 建物内の配線が放送に対応していない。（線が細い、シールドが弱いなど）
ケーブルの交換が必要な場合があります。